

光触媒による H₂O 分解反応の活性向上への取り組み

私が光触媒による H₂O 分解反応の研究に初めて携わったのは 1980 年代前半であった。当時、この反応に見かけの量子収率(AQY)が数十%で作用する光触媒の開発は夢であった。それから 20 年後、NiO/La-NaTaO₃ 光触媒が 56%の AQY でこの反応を進行させることが報告された。 . . .